

岐阜県における
土地価格と不動産取引の動向
に関するアンケート調査結果
～岐阜県不動産市況ＤＩ調査～
(令和７年１０月１日基準点)

令和７年１２月

公益社団法人 岐阜県宅地建物取引業協会
公益社団法人 岐阜県不動産鑑定士協会

後 援 岐 阜 県

目 次

調査結果について	1
1. 調査実施の概要	3
2. 回答者の属性	3
(1) 主な事業地域	3
(2) 主な事業内容	3
3. 回答内容	4
(1) 地価動向の集計	4
① 岐阜県全域の集計	4
② 地域毎の集計	5
(2) 不動産取引(取引件数)の動向	8
① 岐阜県全域の集計	8
② 地域毎の集計	11
(3) 不動産取引(賃料・空室率)の動向	14
① 岐阜県全域の集計	14
② 地域毎の集計	17
各地域ごとのコメント	19
全県実感DI推移表	20

岐阜県における

土地価格と不動産取引の動向 に関するアンケート調査結果

令和7年10月1日を起点とし、過去6ヶ月(R7.4.1～R7.10.1)と、今後6ヶ月(R7.10.1～R8.4.1)の、岐阜県の土地価格と不動産取引の動向について、公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員へアンケート調査を行った結果についてお知らせします。

I. 土地価格の動向について

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
0.6ポイント	0.1ポイント	1.5ポイント	1.2ポイント

今回の県全体の地価動向D Iは、1.5ポイントで、前回（令和7年4月1日）の0.1ポイントから良化した。また、前回の予測値△3.4ポイントからみるとプラス方向へ大きく反転しており、土地価格の動向は回復傾向にある。土地価格の二極化、インフレ、円安、建築費の上昇等土地価格を下落へ向かわせる要因は依然として存在しているものの、悲観的な状況からは脱したことを示している。半年後の予測値は1.2ポイントで、わずかではあるがマイナス予測となっている。

II. 不動産市場の動向（県全体）について

1. 取引件数について

(1) 土地

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△11.8ポイント	△7.0ポイント	△9.4ポイント	△10.3ポイント

土地取引件数は、前回△7.0ポイントよりやや悪化し、△9.4ポイントとなった。なお前回予測値は△8.8ポイントであり大きな乖離は見られない。ただ半年後の予測値は△10.3ポイントであり微減傾向は続く予測されている。

(2) 新築戸建

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△29.9ポイント	△20.5ポイント	△22.4ポイント	△19.0ポイント

新築戸建取引件数は、前回△20.5ポイントよりやや悪化し、△22.4ポイントとなった。ただ前回予測値が△18.8ポイントとやや改善に向かうと見込まれていただけに予測通り新築住宅の売れ行きは芳しくない状況にある。

(3) 中古住宅

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△2.9ポイント	0.5ポイント	5.6ポイント	3.0ポイント

中古住宅取引件数は、プラスに転じた前回の0.5ポイントから、今回5.6ポイントとさらに良化している。また予測値も引き続きプラスの3.0ポイントと中古住宅市場の活況継続が予測されている。

(4) 新築マンション

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△21.1ポイント	△21.7ポイント	△17.5ポイント	△18.8ポイント

今回の県全体の新築マンション売買仲介件数D Iは、△17.5ポイントで、前回（令和7年4月1日）の△21.7ポイントからは改善したものの予測値は△18.8ポイントと特段の改善はみられないとする予測となっている。

(5) 中古マンション

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△13.8ポイント	△11.7ポイント	△3.6ポイント	△5.0ポイント

今回の県全体の中古マンション売買仲介件数DIは、△3.6ポイントで、前回の△11.7ポイントから大きく改善した。ただ半年後の予測値は△5.0ポイントとなっており特段の改善は見込めないとの予測となっている。

2. 賃料、空室率について

(1) 賃料水準について

居住用物件の賃料

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
0.0ポイント	1.9ポイント	△2.6ポイント	0.0ポイント

事業用物件の賃料

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
1.4ポイント	△4.3ポイント	1.8ポイント	4.0ポイント

居住用物件の賃料水準は、前回調査から悪化して△2.6ポイントとなった。また、事業用物件は前回△4.3ポイントから今回1.8ポイントとマイナスから大幅に改善した。居住用物件は、引き続き戸建貸家の需要が堅調、昨今の物価上昇の波を受け人気物件は賃料を上げやすい。反面、築古物件の賃料アップは厳しいであろう。事業用物件では、インバウンド関連物件や物流施設等の交通便利性が高い物件は賃料を上げやすい状況にある。

(2) 空室率について

居住用物件の空室率

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
△5.4ポイント	△3.0ポイント	△4.4ポイント	△1.8ポイント

事業用物件の空室率

R6. 10. 1	R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1(予測)
2.6ポイント	△5.6ポイント	0.0ポイント	0.8ポイント

空室率については、居住用物件が△4.4ポイントとやや悪化したが、事業用物件が△5.6ポイントから±0.0ポイントと大きく良化した。居住用物件は、所在地域、築年数により空室率に大きな差異がみられる。事業用物件は、長期空室物件と即入居物件が混在し二極化が進行している。

【DI指数について】

DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている指標です。

DIの算出方法は、各判断項目について5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して、次式により算出します。

$$DI = \{(\text{第1選択肢の回答数} \times 2 + \text{第2選択肢の回答数}) - (\text{第4選択肢の回答数} + \text{第5選択肢の回答数} \times 2)\} \div 2 \div \text{回答者数} \times 100$$

本調査では、上昇(増加)から下落(減少)までの判断を5段階で調査し、DIが0.0以上なら改善したとみる会員が多く、逆に0.0以下なら厳しい見方が多いことになる。

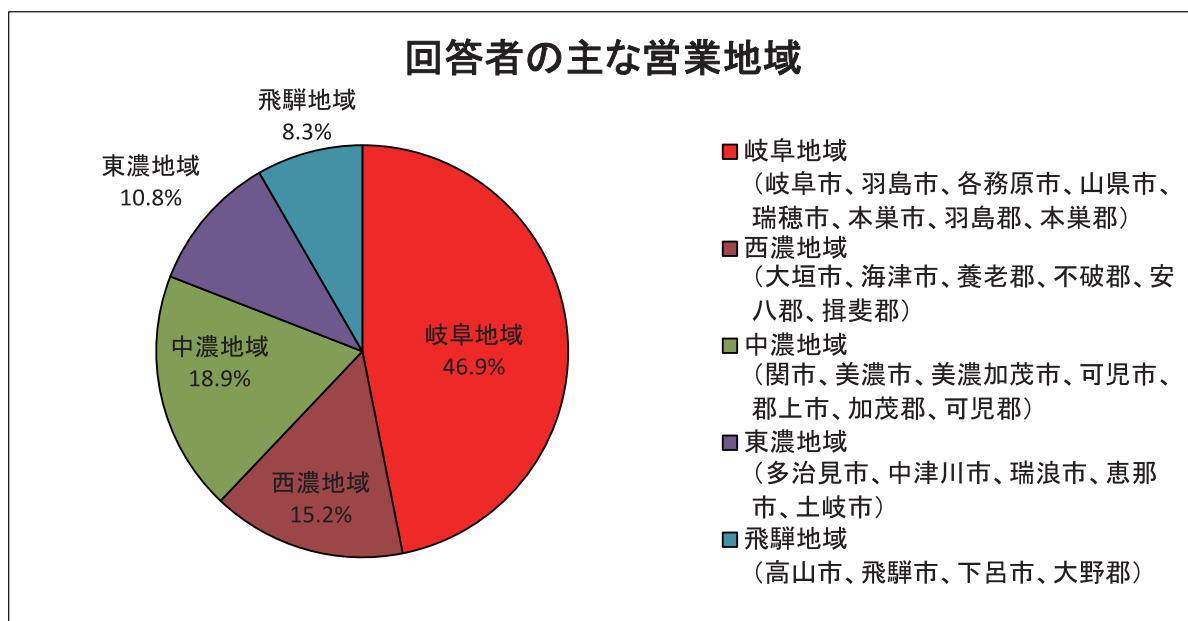
1. 調査実施の概要

- (1) 調査方法：郵送によるアンケート調査
 (2) 調査対象：公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員
 (3) 発送数： 1,128 社
 (4) 回答数： 493 社(回収率 43.7%)

2. 回答者の属性

(1) 主な事業地域

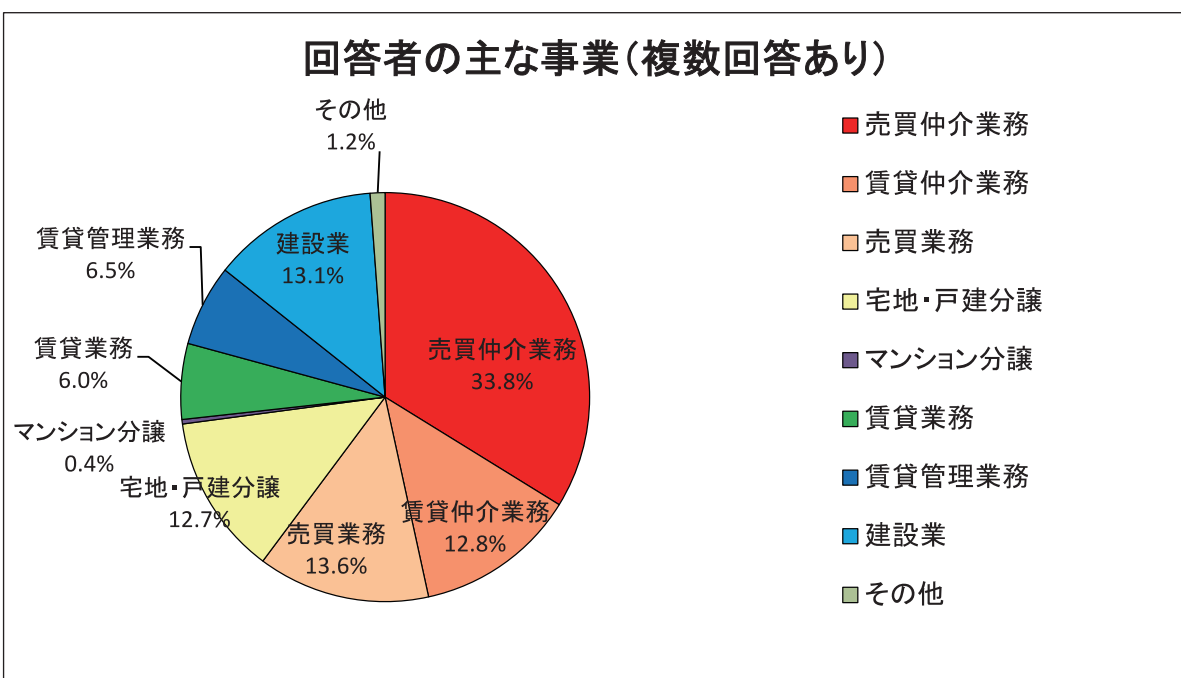
岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域	合計
231	75	93	53	41	493



(2) 主な事業内容

(複数回答あり)

売買仲介業務	賃貸仲介業務	売買業務	宅地・戸建分譲	マンション分譲	賃貸業務	賃貸管理業務	建設業	その他	合計
288	109	116	108	3	51	55	112	10	852



3. 回答内容

(1)地価動向の集計

①岐阜県全域の集計

問2. 令和7年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和7年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

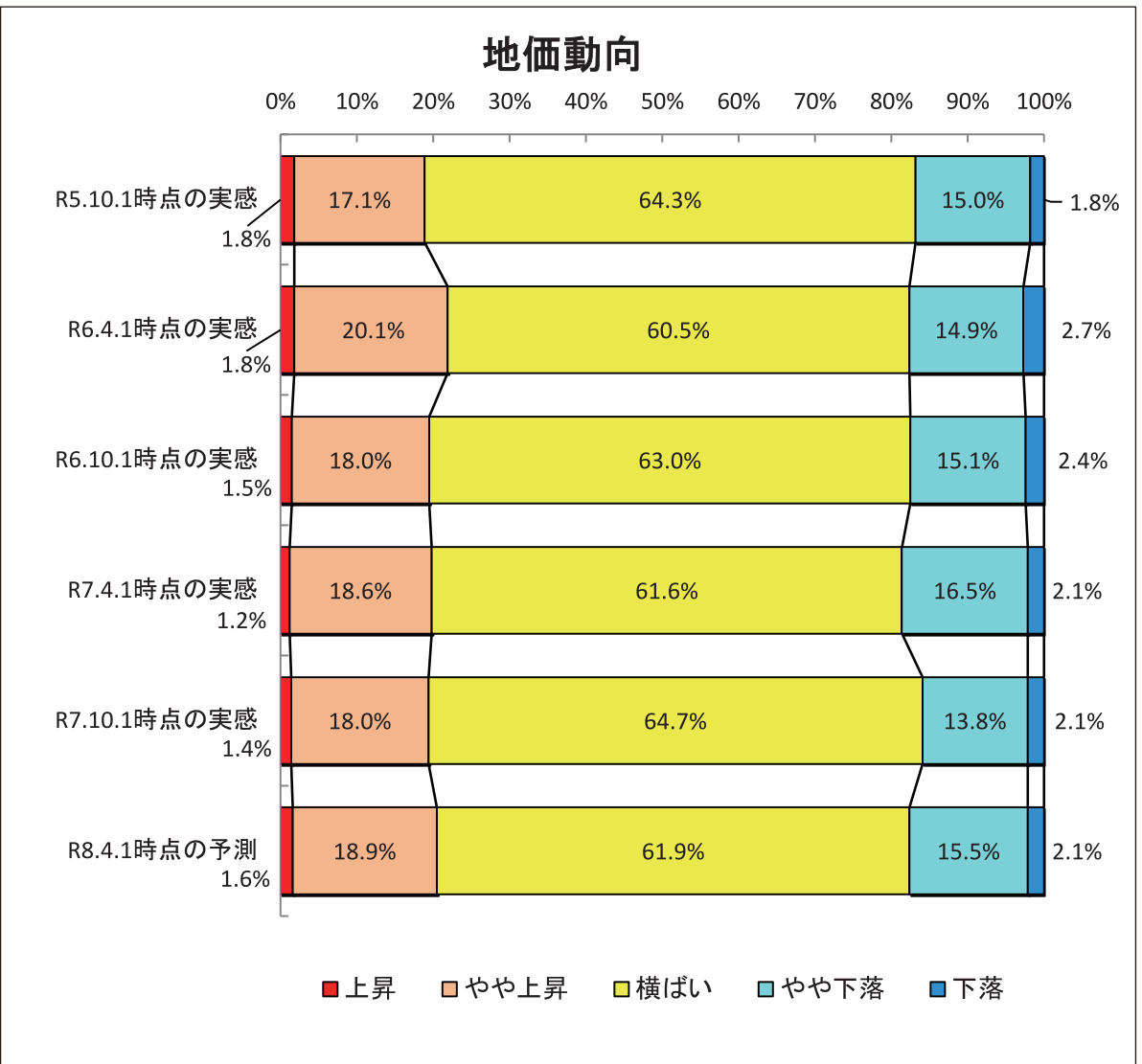
令和7年10月1日と令和7年4月1日の地価動向の比較

上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
13	167	599	128	19	926	1.5
1.4%	18.0%	64.7%	13.8%	2.1%	100.0%	

問3. 半年後(令和8年4月1日)の地価の動向は、現在(令和7年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

令和7年10月1日と令和8年4月1日の地価動向の比較

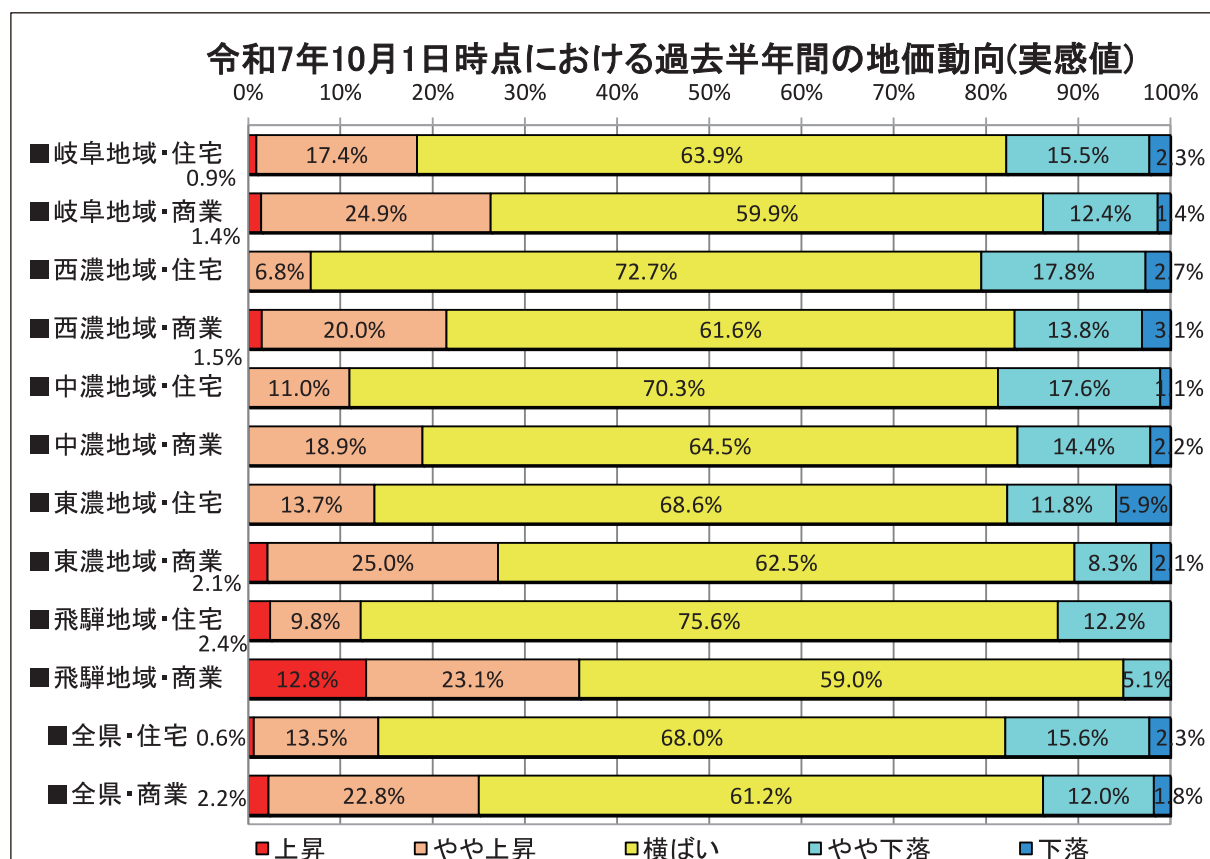
上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
15	176	576	144	20	931	1.2
1.6%	18.9%	61.9%	15.5%	2.1%	100.0%	



②地域毎の集計

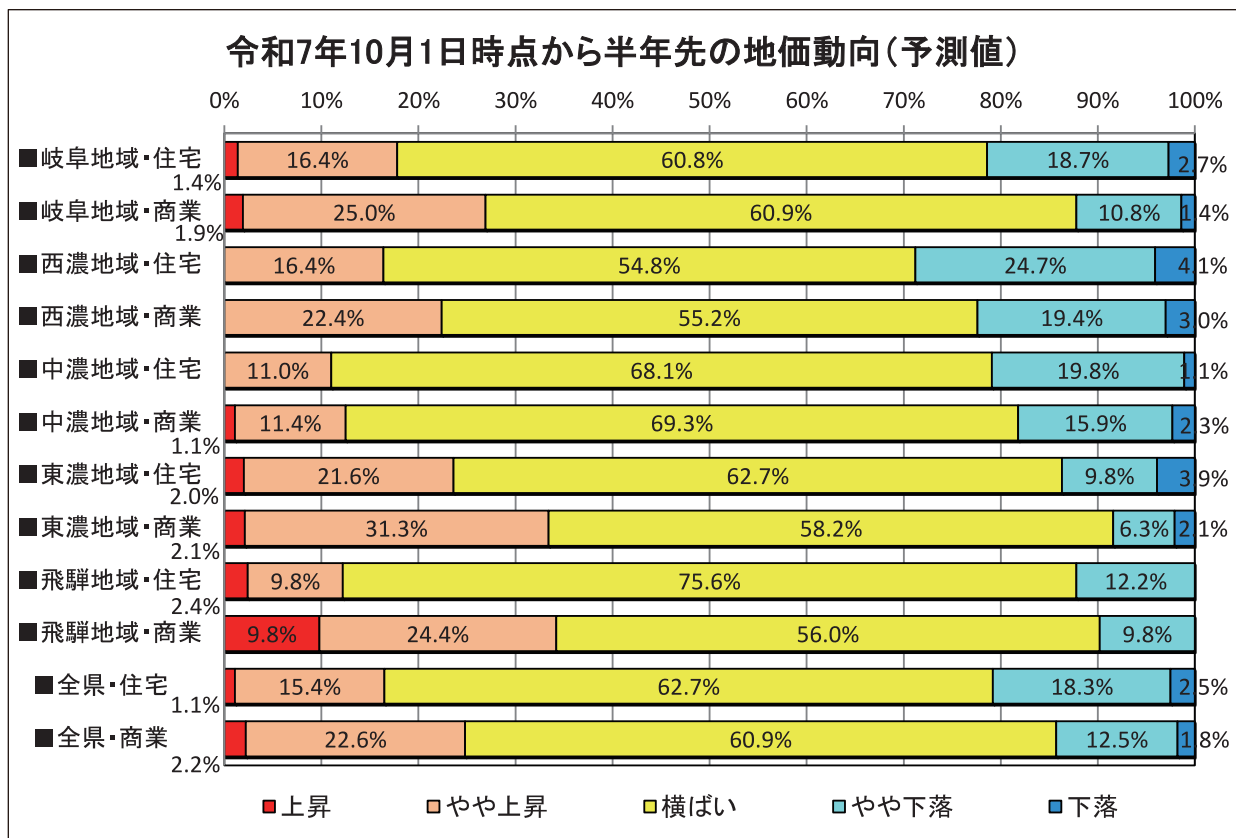
問2. 令和7年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和7年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

地価動向・地域毎(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の地価動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	2	38	140	34	5	219
DI指数	-0.5P	0.9%	17.4%	63.9%	15.5%	2.3%	100%
岐阜地域・商業地	回答数	3	52	125	26	3	209
DI指数	6.2P	1.4%	24.9%	59.9%	12.4%	1.4%	100%
西濃地域・住宅地	回答数	0	5	53	13	2	73
DI指数	-3.6P	0.0%	6.8%	72.7%	17.8%	2.7%	100%
西濃地域・商業地	回答数	1	13	40	9	2	65
DI指数	-8.2P	1.5%	20.0%	61.6%	13.8%	3.1%	100%
中濃地域・住宅地	回答数	0	10	64	16	1	91
DI指数	-4.4P	0.0%	11.0%	70.3%	17.6%	1.1%	100%
中濃地域・商業地	回答数	0	17	58	13	2	90
DI指数	0.0P	0.0%	18.9%	64.5%	14.4%	2.2%	100%
東濃地域・住宅地	回答数	0	7	35	6	3	51
DI指数	-4.9P	0.0%	13.7%	68.6%	11.8%	5.9%	100%
東濃地域・商業地	回答数	1	12	30	4	1	48
DI指数	8.3P	2.1%	25.0%	62.5%	8.3%	2.1%	100%
飛騨地域・住宅地	回答数	1	4	31	5	0	41
DI指数	1.2P	2.4%	9.8%	75.6%	12.2%	0.0%	100%
飛騨地域・商業地	回答数	5	9	23	2	0	39
DI指数	21.8P	12.8%	23.1%	59.0%	5.1%	0.0%	100%
全県・住宅地	回答数	3	64	323	74	11	475
DI指数	-2.7P	0.6%	13.5%	68.0%	15.6%	2.3%	100%
全県・商業地	回答数	10	103	276	54	8	451
DI指数	5.9P	2.2%	22.8%	61.2%	12.0%	1.8%	100%

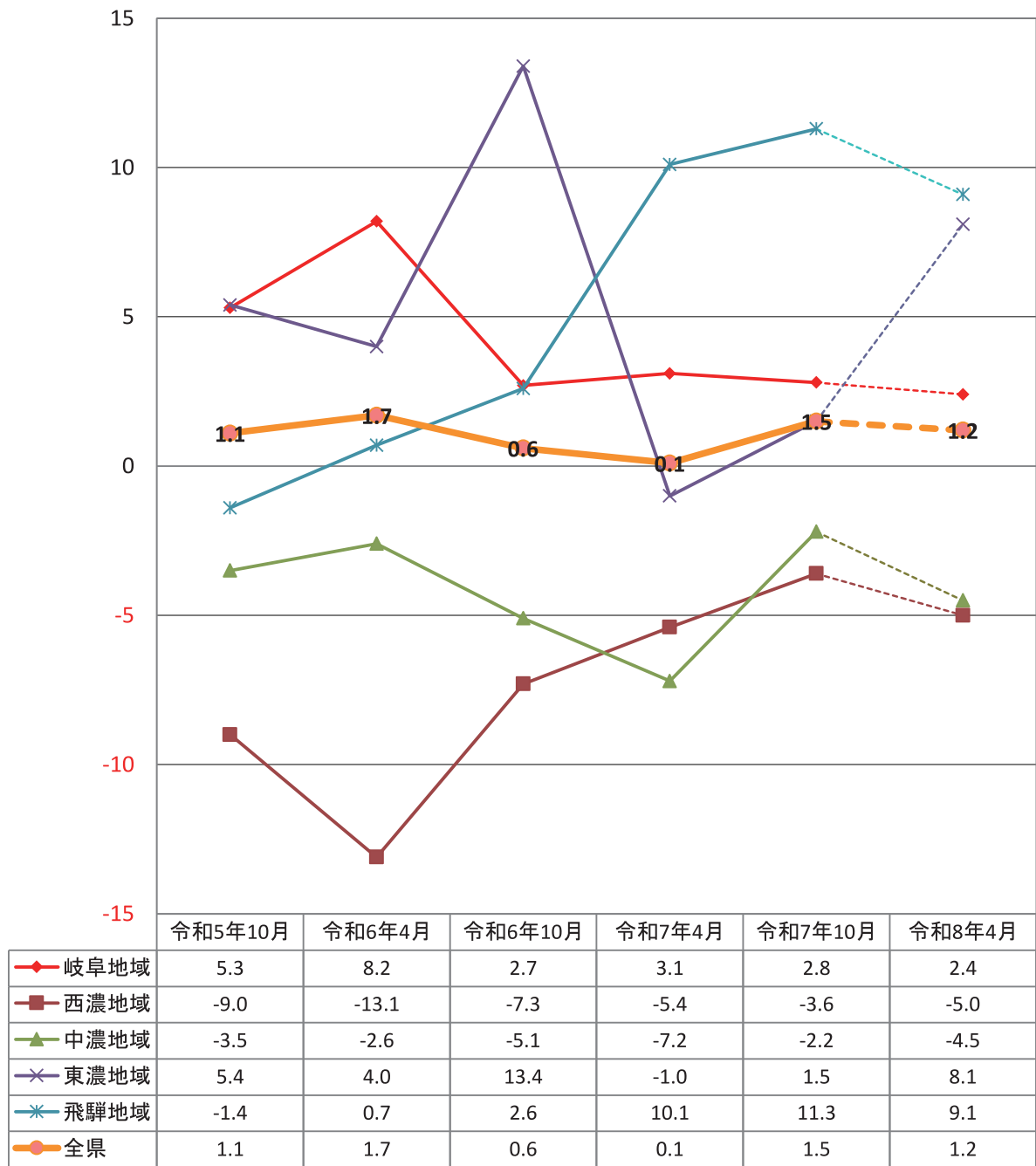


問3. 半年後(令和8年4月1日)の地価の動向は、現在(令和7年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

地価動向・地域毎(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の地価動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	3	36	133	41	6	219
	DI指数	2.4P	1.4%	16.4%	60.8%	18.7%	2.7%
岐阜地域・商業地	回答数	4	53	129	23	3	212
	DI指数	-2.5P	1.9%	25.0%	60.9%	10.8%	1.4%
西濃地域・住宅地	回答数	0	12	40	18	3	73
	DI指数	-5.0P	0.0%	16.4%	54.8%	24.7%	4.1%
西濃地域・商業地	回答数	0	15	37	13	2	67
	DI指数	-8.2P	0.0%	22.4%	55.2%	19.4%	3.0%
中濃地域・住宅地	回答数	0	10	62	18	1	91
	DI指数	-4.5P	0.0%	11.0%	68.1%	19.8%	1.1%
中濃地域・商業地	回答数	1	10	61	14	2	88
	DI指数	-5.5P	1.1%	11.4%	69.3%	15.9%	2.3%
東濃地域・住宅地	回答数	1	11	32	5	2	51
	DI指数	8.1P	2.0%	21.6%	62.7%	9.8%	3.9%
東濃地域・商業地	回答数	1	15	28	3	1	48
	DI指数	3.9P	2.1%	31.3%	58.2%	6.3%	2.1%
飛騨地域・住宅地	回答数	1	4	31	5	0	41
	DI指数	9.1P	2.4%	9.8%	75.6%	12.2%	0.0%
飛騨地域・商業地	回答数	4	10	23	4	0	41
	DI指数	1.2P	9.8%	24.4%	56.0%	9.8%	0.0%
全県・住宅地	回答数	5	73	298	87	12	475
	DI指数	1.2P	1.1%	15.4%	62.7%	18.3%	2.5%
全県・商業地	回答数	10	103	278	57	8	456
	DI指数	-2.9P	2.2%	22.6%	60.9%	12.5%	1.8%



地価動向DI



※令和8年4月は令和7年10月時点における予測値を示す(以下、同様)。

(2)不動産取引(取引件数)の動向

①岐阜県全域の集計

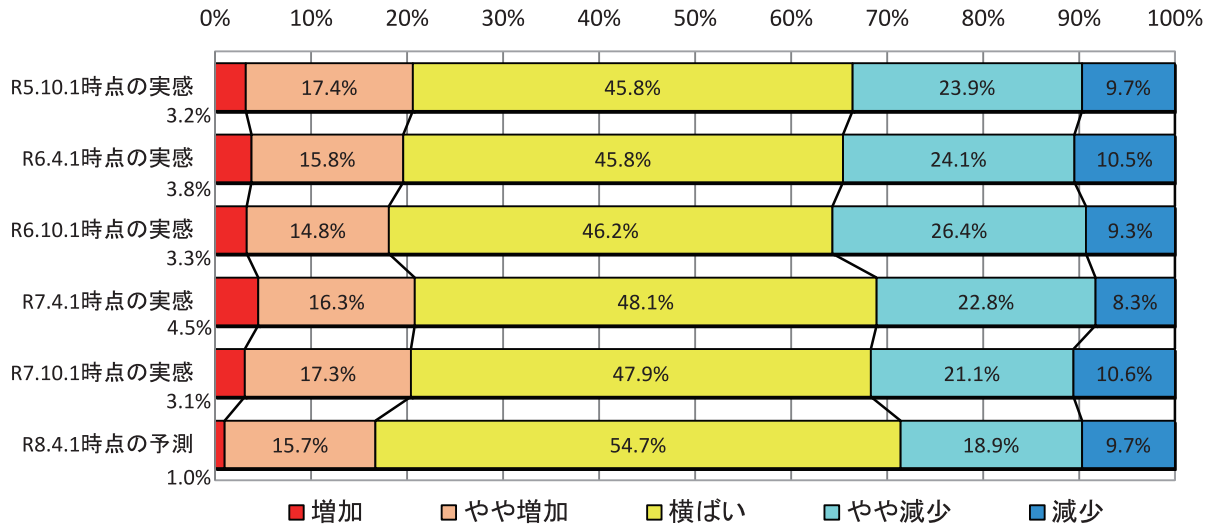
問4. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、令和7年10月1日現在の半年間の取引件数は、半年前(令和7年4月1日)と比較してどうですか？

取引動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の取引動向(実感値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	13	72	200	88	44		417
DI指数	-9.4P	3.1%	17.3%	47.9%	21.1%	10.6%		100%
新築戸建住宅	回答数	5	20	93	57	33		208
DI指数	-22.4P	2.4%	9.6%	44.7%	27.4%	15.9%		100%
中古戸建住宅	回答数	18	79	133	46	18		294
DI指数	5.6P	6.1%	26.9%	45.3%	15.6%	6.1%		100%
新築マンション	回答数	1	5	69	18	13		106
DI指数	-17.5P	0.9%	4.7%	65.1%	17.0%	12.3%		100%
中古マンション	回答数	1	28	93	21	10		153
DI指数	-3.6P	0.7%	18.3%	60.8%	13.7%	6.5%		100%

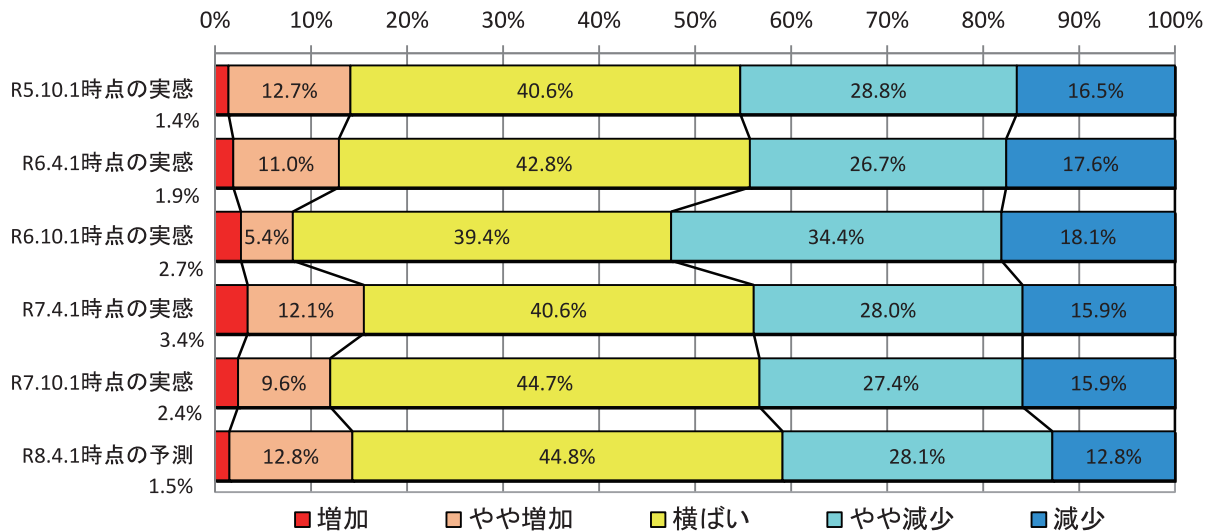
問5. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、半年後(令和8年4月1日)の取引件数は、現在(令和7年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

取引動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の取引動向(予測値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	4	65	226	78	40		413
DI指数	-10.3P	1.0%	15.7%	54.7%	18.9%	9.7%		100%
新築戸建住宅	回答数	3	26	91	57	26		203
DI指数	-19.0P	1.5%	12.8%	44.8%	28.1%	12.8%		100%
中古戸建住宅	回答数	8	75	143	36	19		281
DI指数	3.0P	2.8%	26.7%	50.9%	12.8%	6.8%		100%
新築マンション	回答数	1	11	60	20	17		109
DI指数	-18.8P	0.9%	10.1%	55.1%	18.3%	15.6%		100%
中古マンション	回答数	1	29	86	20	13		149
DI指数	-5.0P	0.7%	19.5%	57.7%	13.4%	8.7%		100%

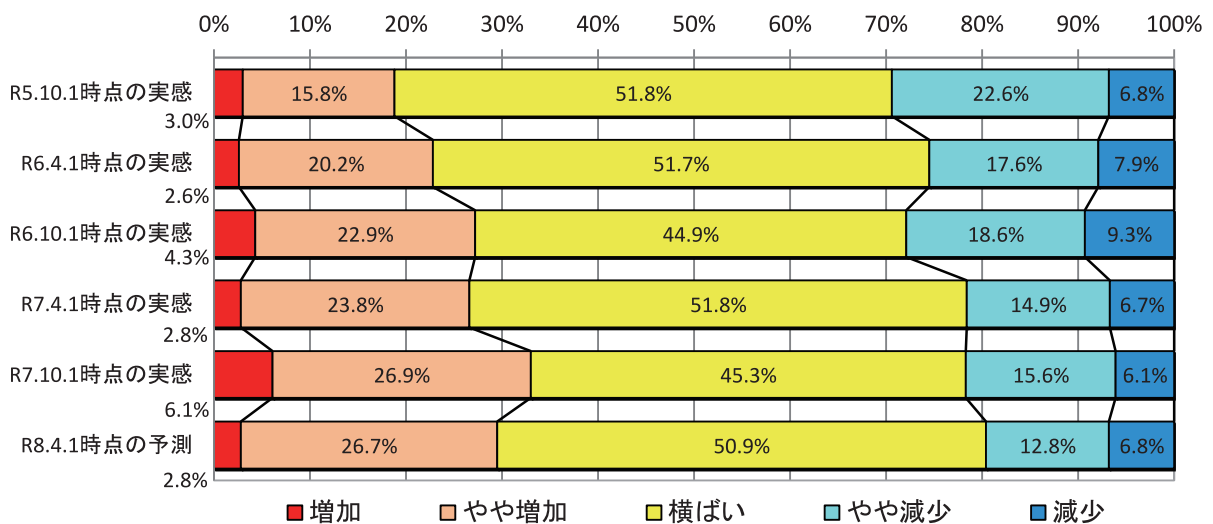
土地



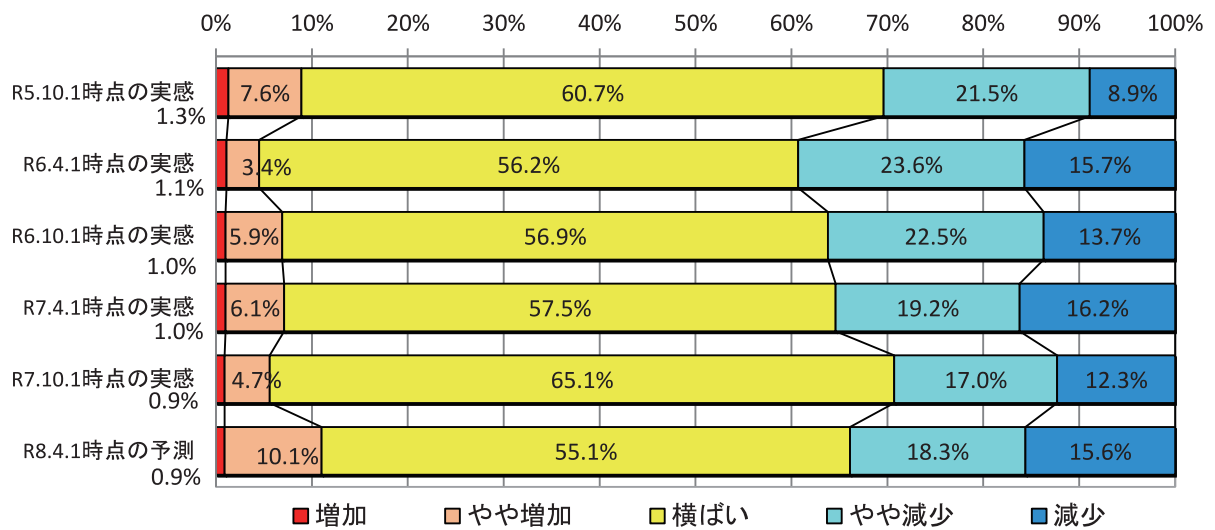
新築戸建住宅



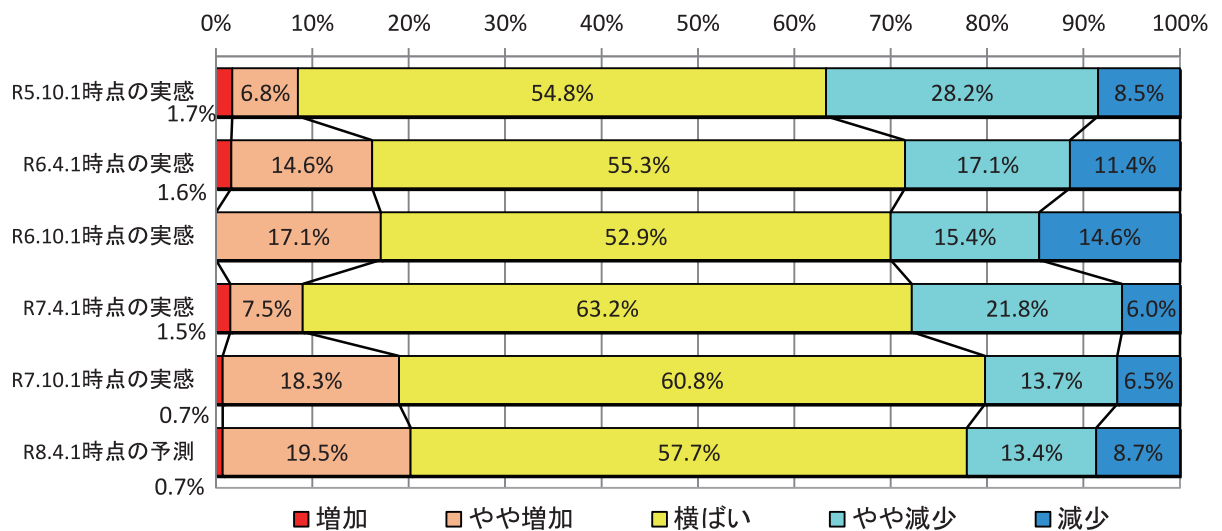
中古戸建住宅



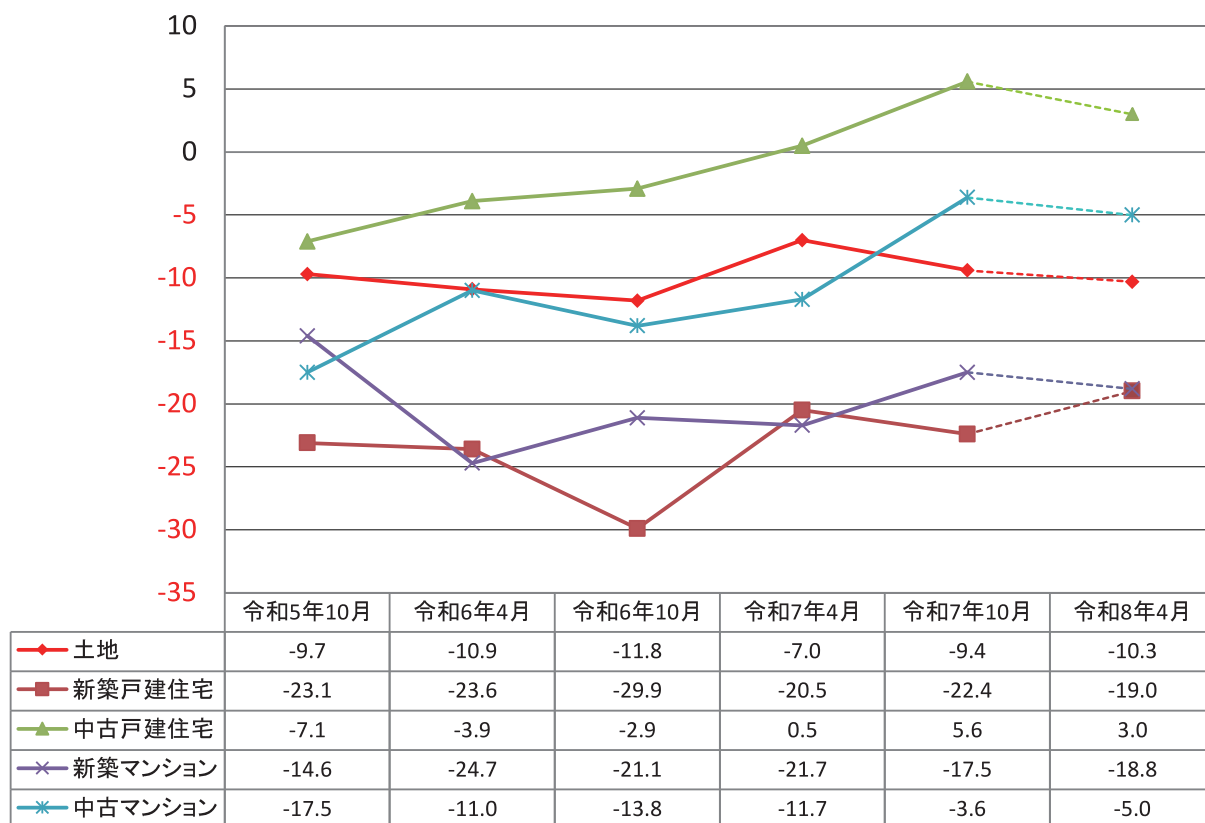
新築マンション



中古マンション

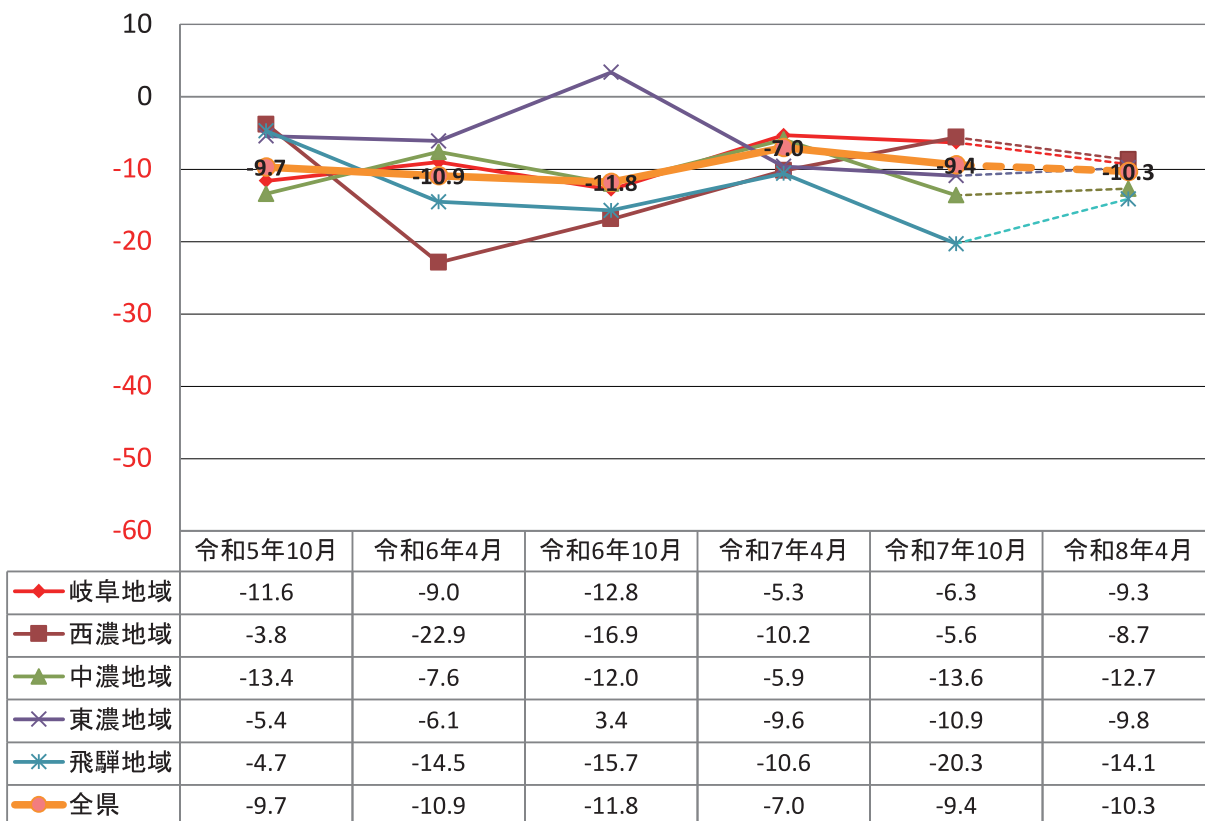


岐阜県不動産DI

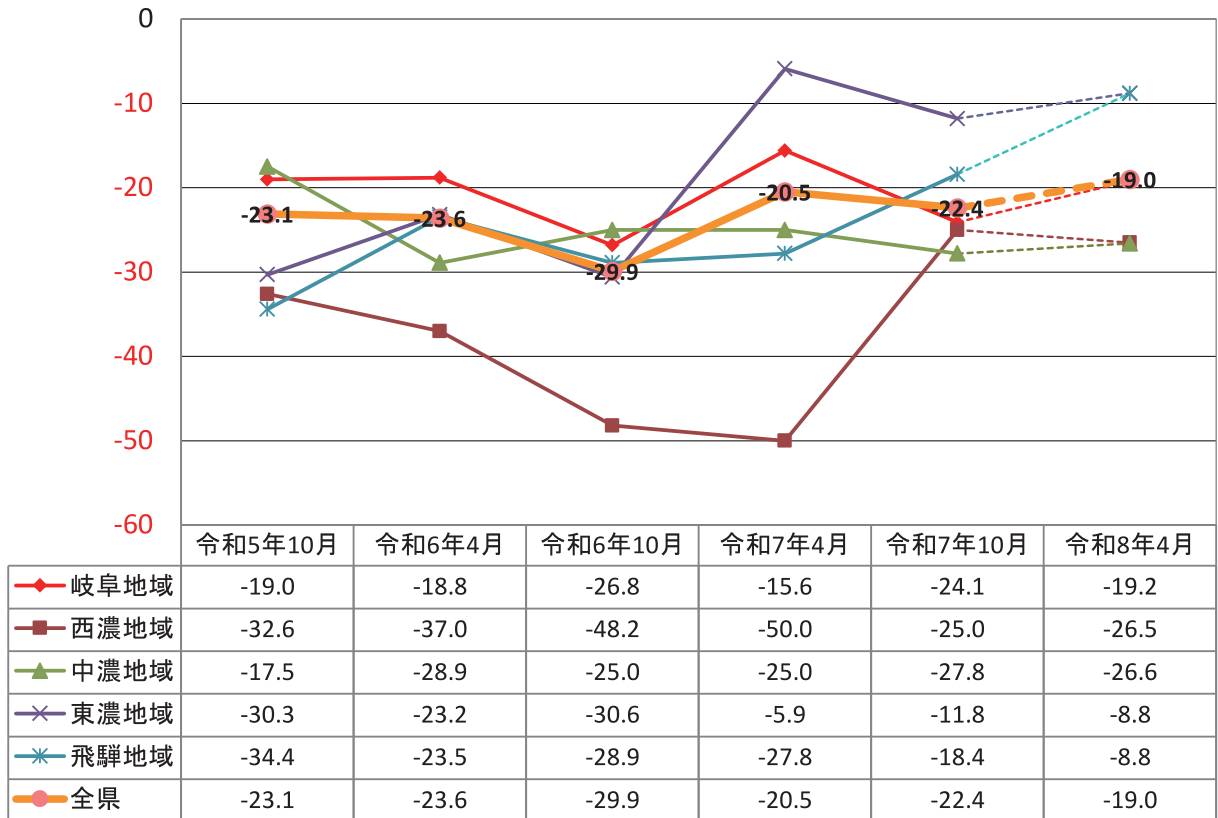


②地域毎の集計

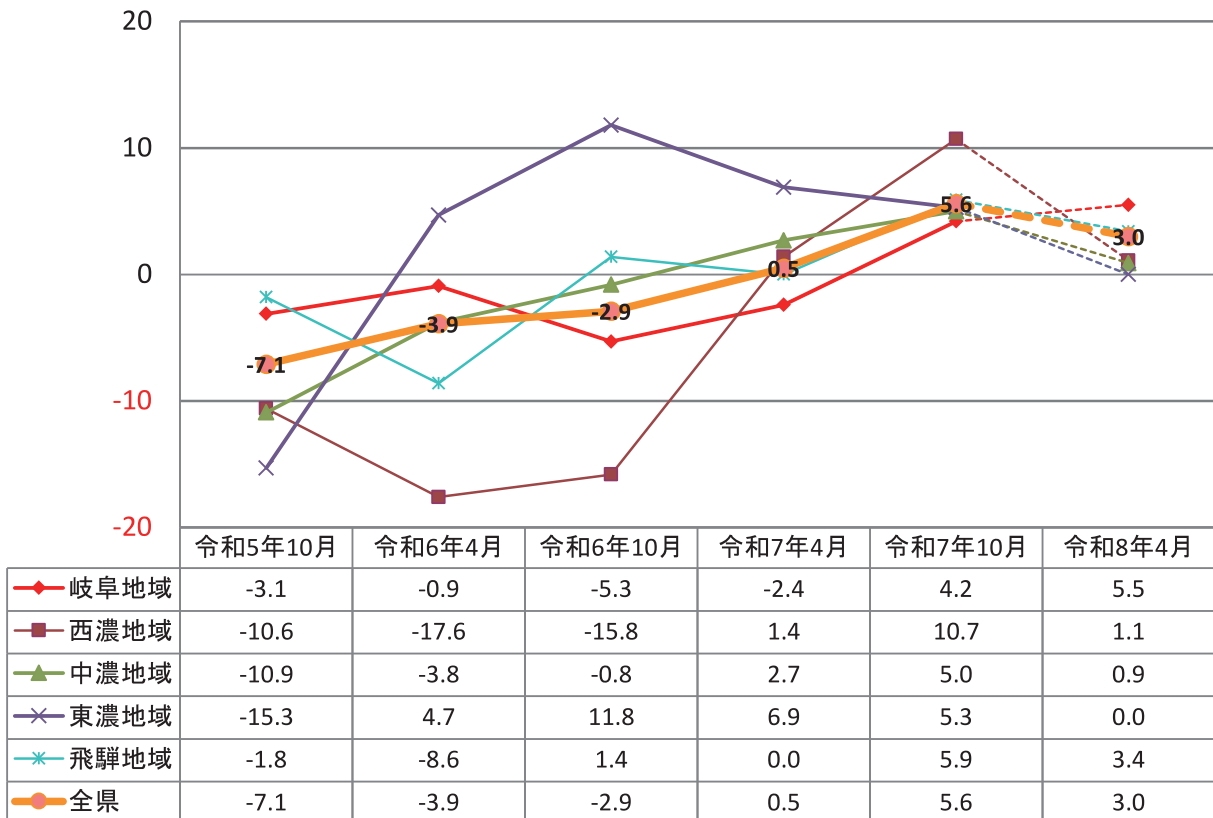
土地DI



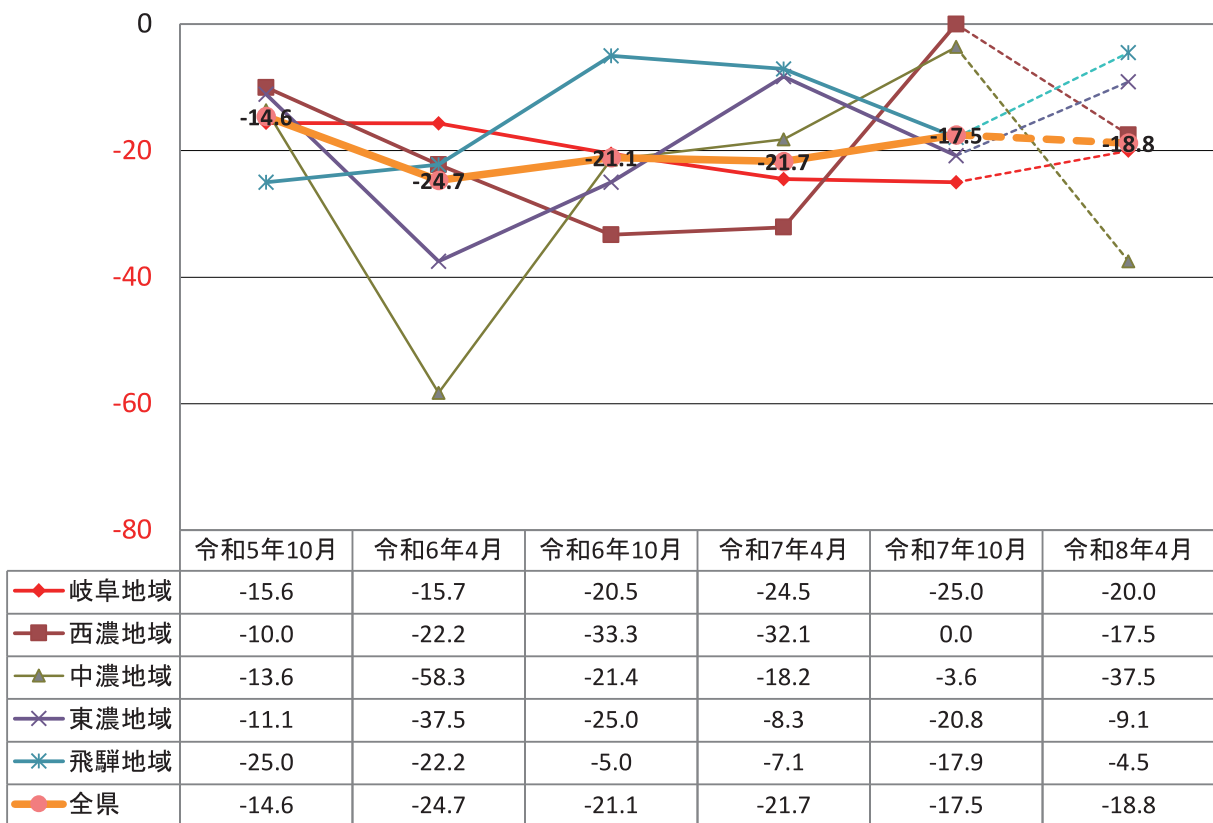
新築戸建住宅DI



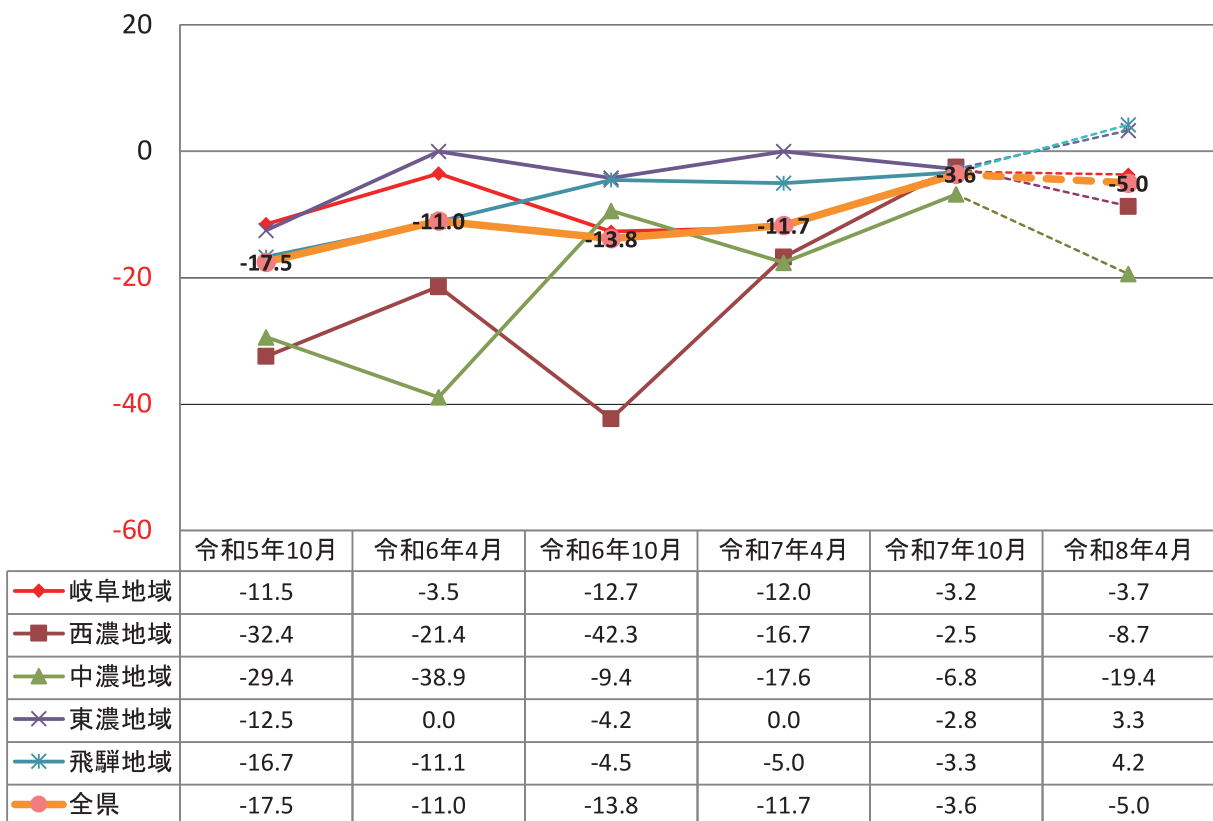
中古戸建住宅DI



新築マンションDI



中古マンションDI



(3)不動産取引(賃料・空室率)の動向

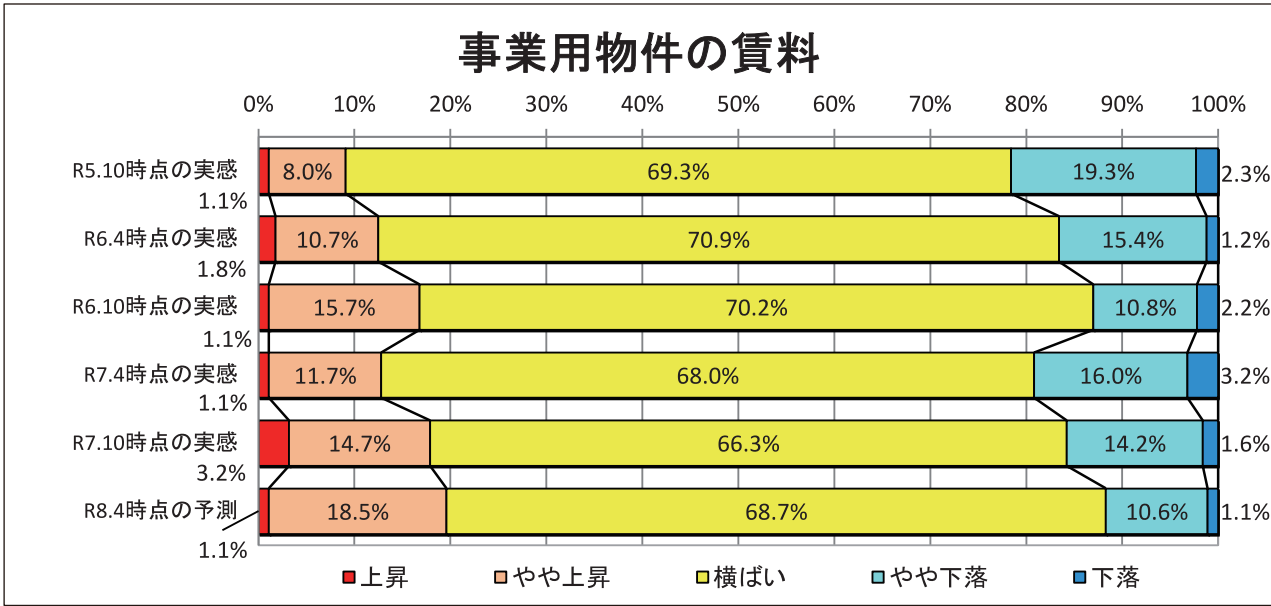
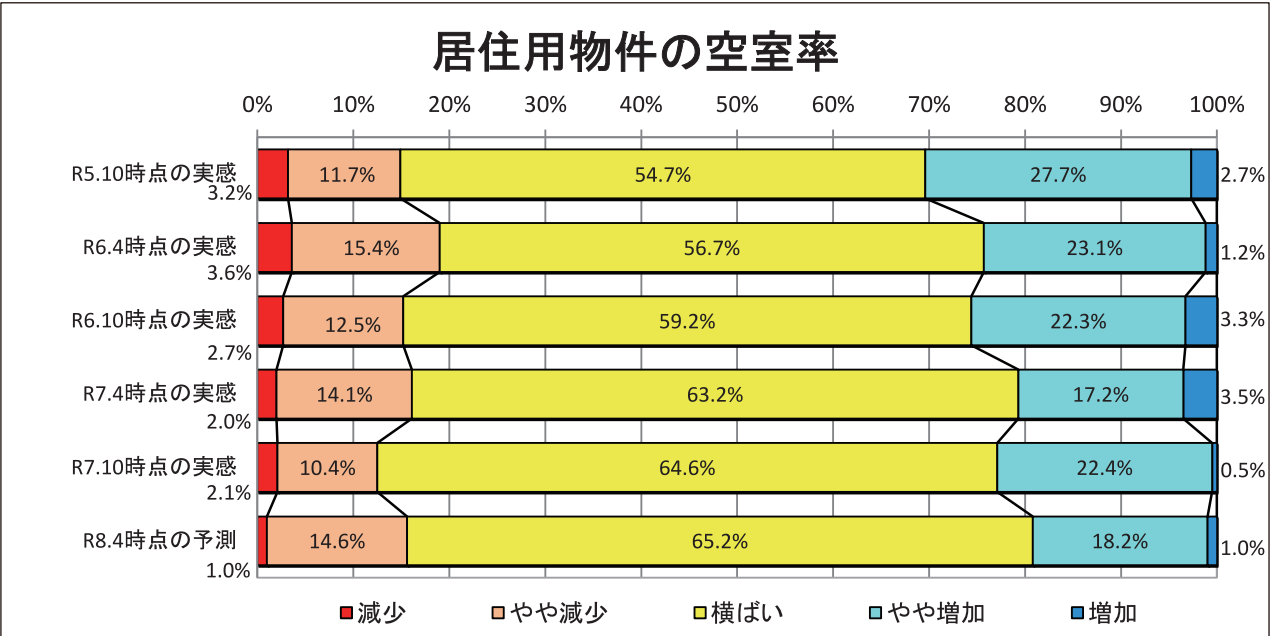
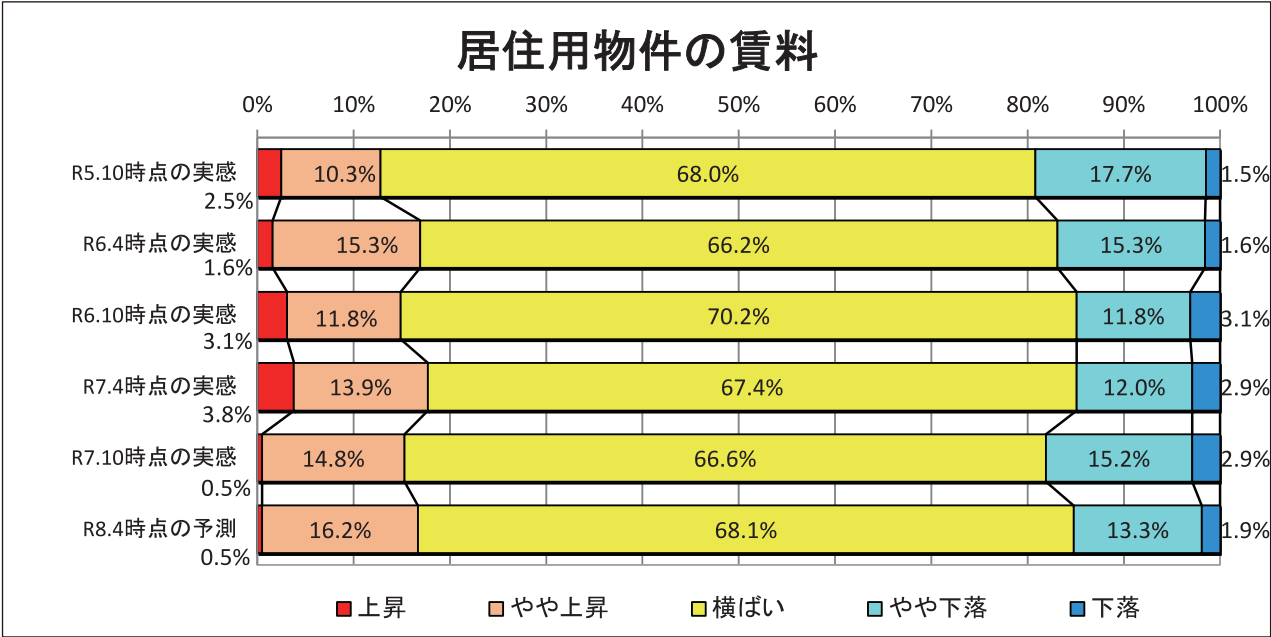
①岐阜県全域の集計

問6. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、令和7年10月1日現在の賃料・空室率は、半年前(令和7年4月1日)と比較してどうですか？

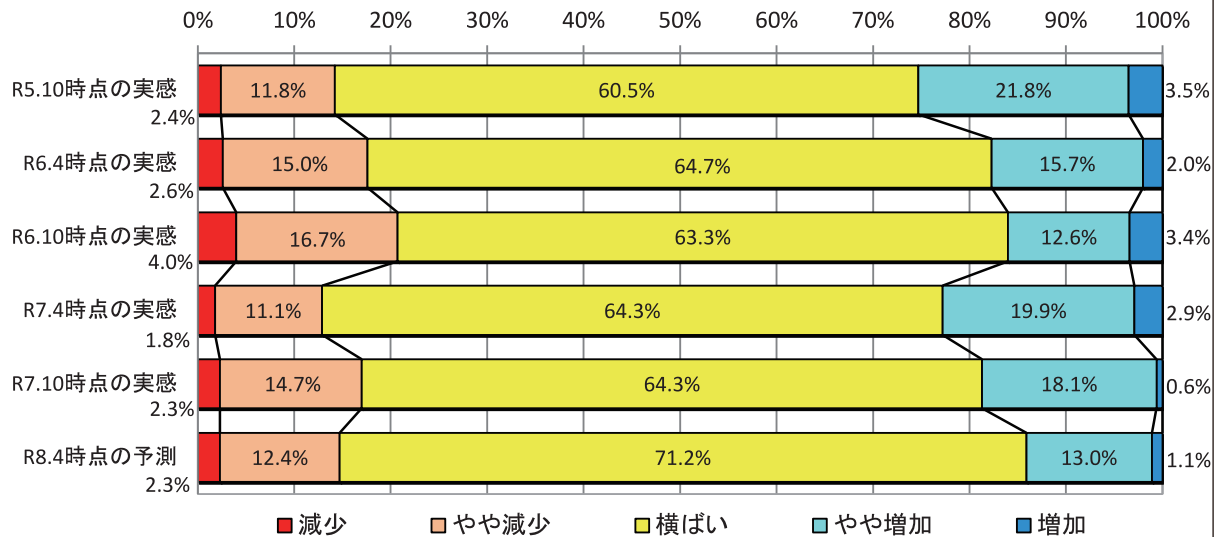
賃料動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の賃料動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある		合計
居住用物件の賃料	回答数	1	31	140	32	6		210
DI指数	-2.6P	0.5%	14.8%	66.6%	15.2%	2.9%		100%
事業用物件の賃料	回答数	6	28	126	27	3		190
DI指数	1.8P	3.2%	14.7%	66.3%	14.2%	1.6%		100%
空室率動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の空室率動向(実感値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある		合計
居住用物件の空室率	回答数	4	20	124	43	1		192
DI指数	-4.4P	2.1%	10.4%	64.6%	22.4%	0.5%		100%
事業用物件の空室率	回答数	4	26	114	32	1		177
DI指数	0.0P	2.3%	14.7%	64.3%	18.1%	0.6%		100%

問7. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、半年後(令和8年4月1日)の賃料・空室率は、現在(令和7年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

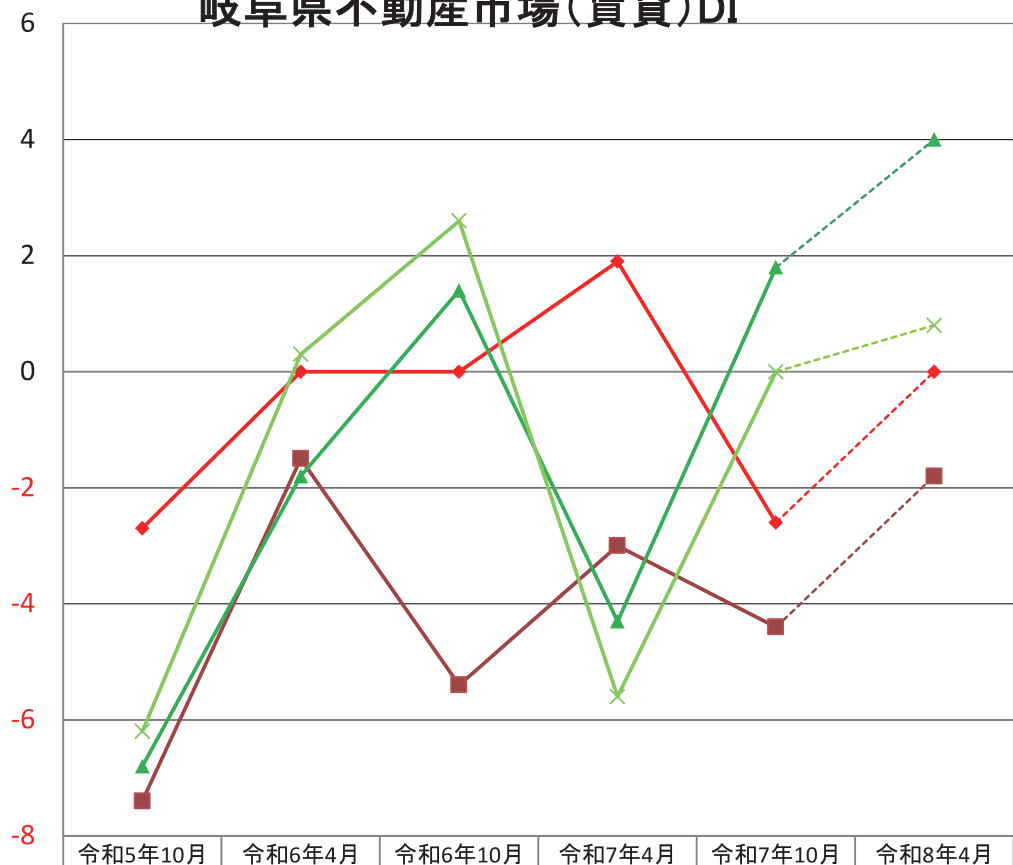
賃料動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の賃料動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある		合計
居住用物件の賃料	回答数	1	34	143	28	4		210
DI指数	0.0P	0.5%	16.2%	68.1%	13.3%	1.9%		100%
事業用物件の賃料	回答数	2	35	130	20	2		189
DI指数	4.0P	1.1%	18.5%	68.7%	10.6%	1.1%		100%
空室率動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の空室率動向(予測値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある		合計
居住用物件の空室率	回答数	2	28	125	35	2		192
DI指数	-1.8P	1.0%	14.6%	65.2%	18.2%	1.0%		100%
事業用物件の空室率	回答数	4	22	126	23	2		177
DI指数	0.8P	2.3%	12.4%	71.2%	13.0%	1.1%		100%



事業用物件の空室率



岐阜県不動産市場(賃貸)DI

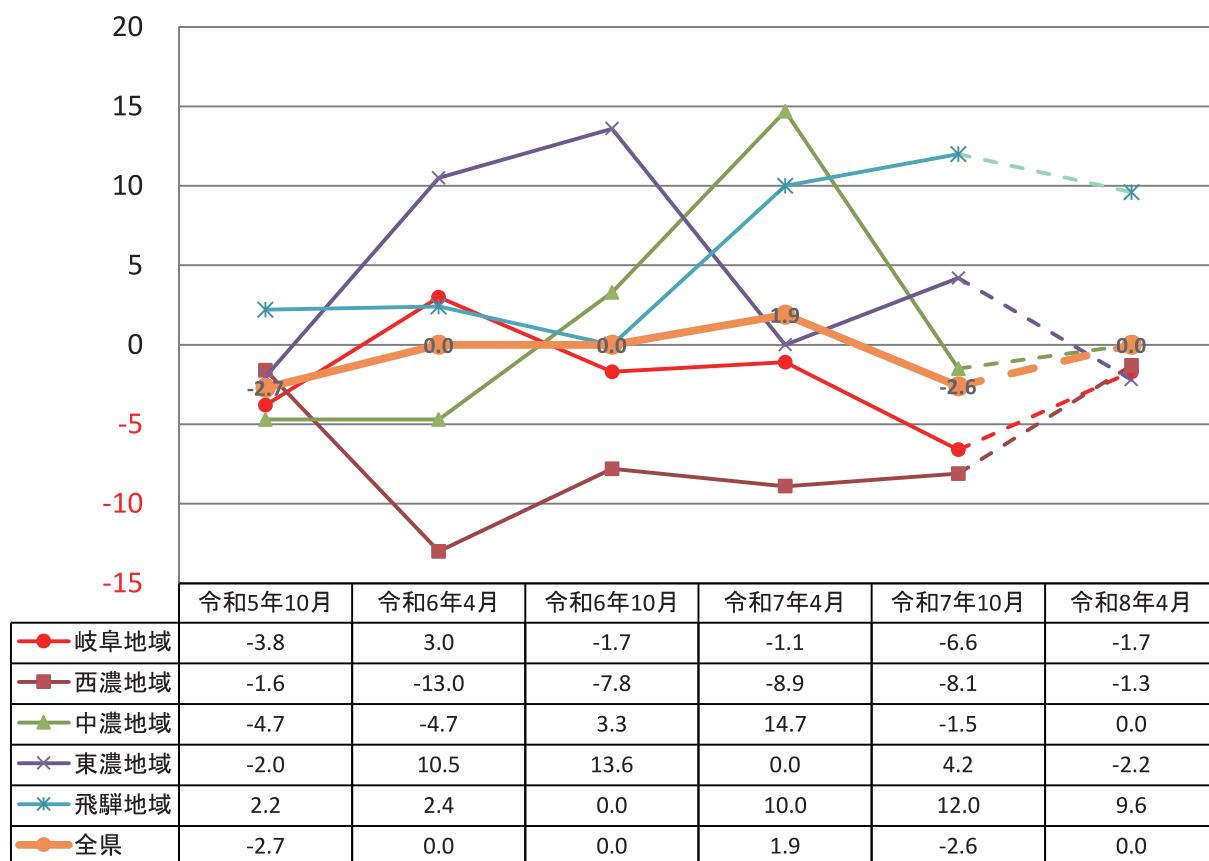


	令和5年10月	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月	令和7年10月	令和8年4月
居住用物件の賃料	-2.7	0.0	0.0	1.9	-2.6	0.0
居住用物件の空室率	-7.4	-1.5	-5.4	-3.0	-4.4	-1.8
事業用物件の賃料	-6.8	-1.8	1.4	-4.3	1.8	4.0
事業用物件の空室率	-6.2	0.3	2.6	-5.6	0.0	0.8

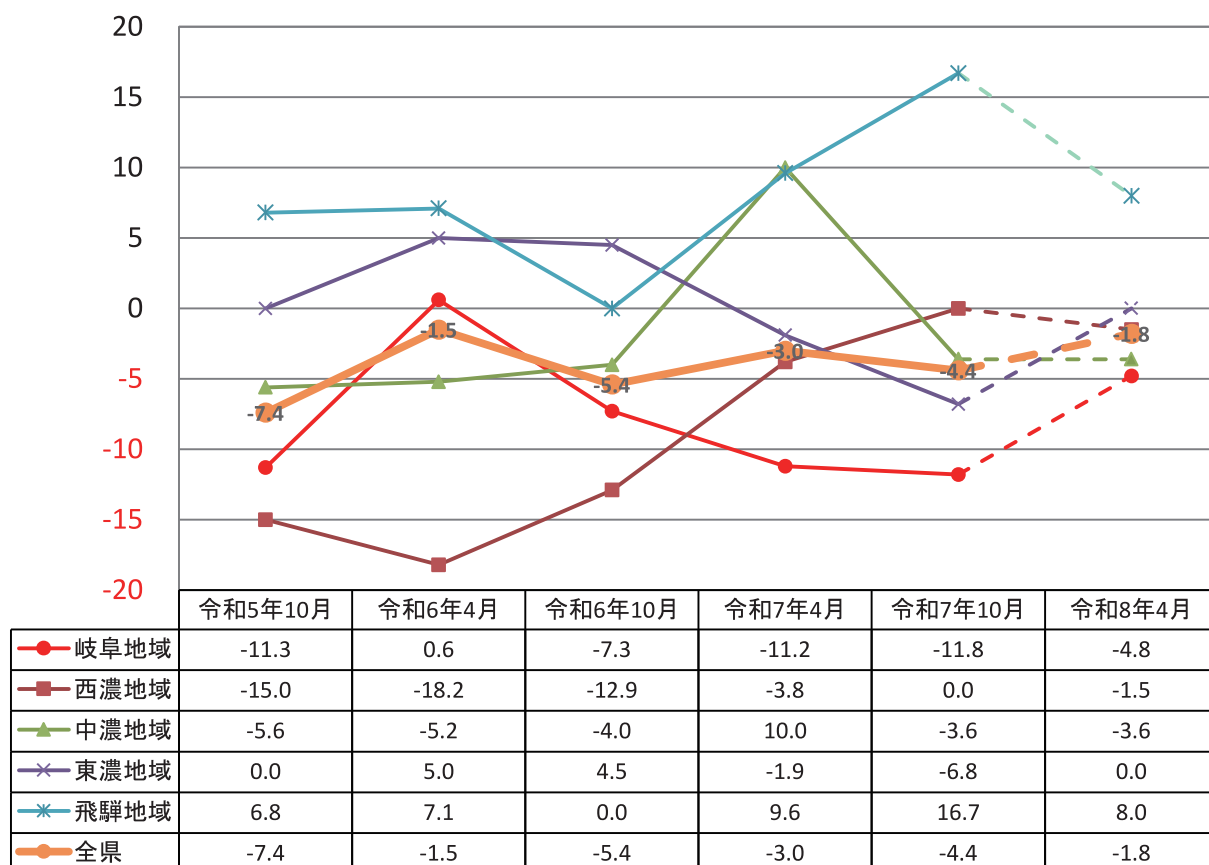
※は時点における予測値を示す（以下、同様）。

②地域毎の集計

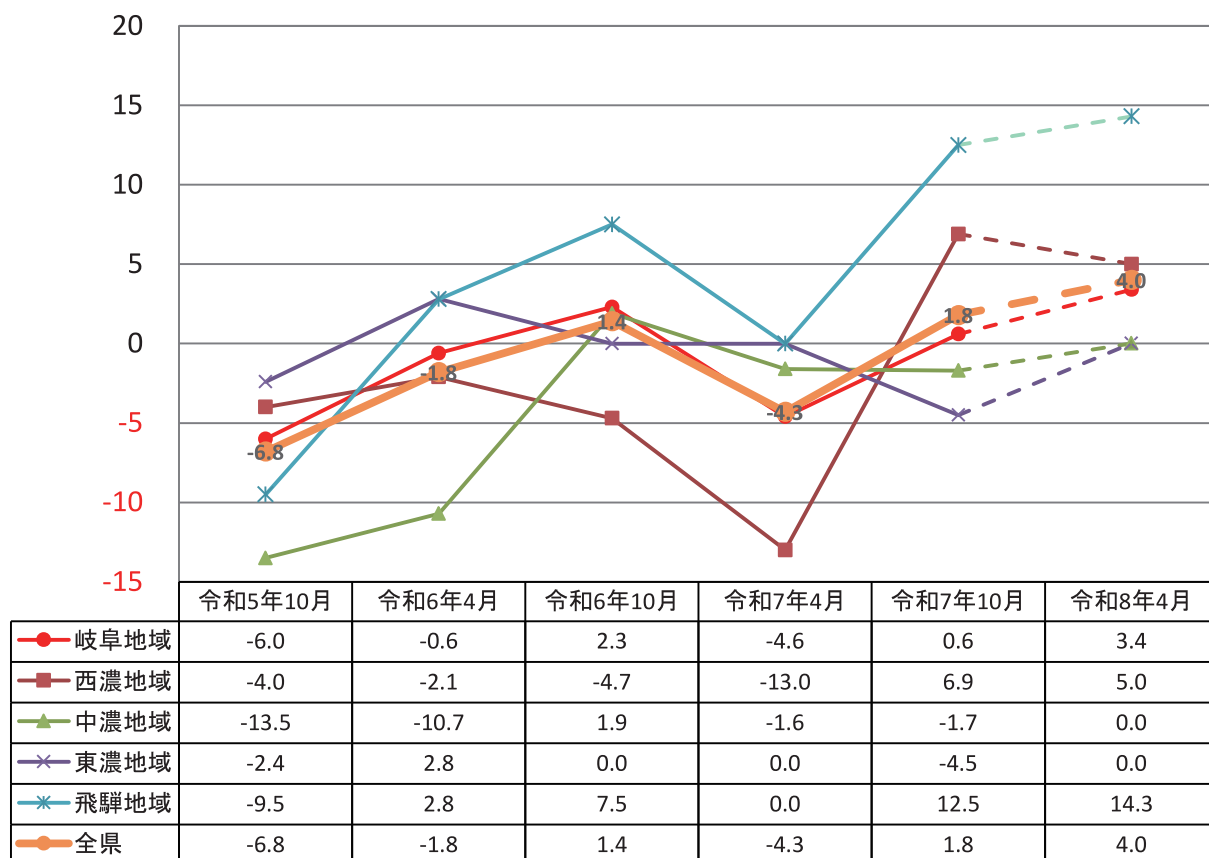
居住用物件の賃料DI



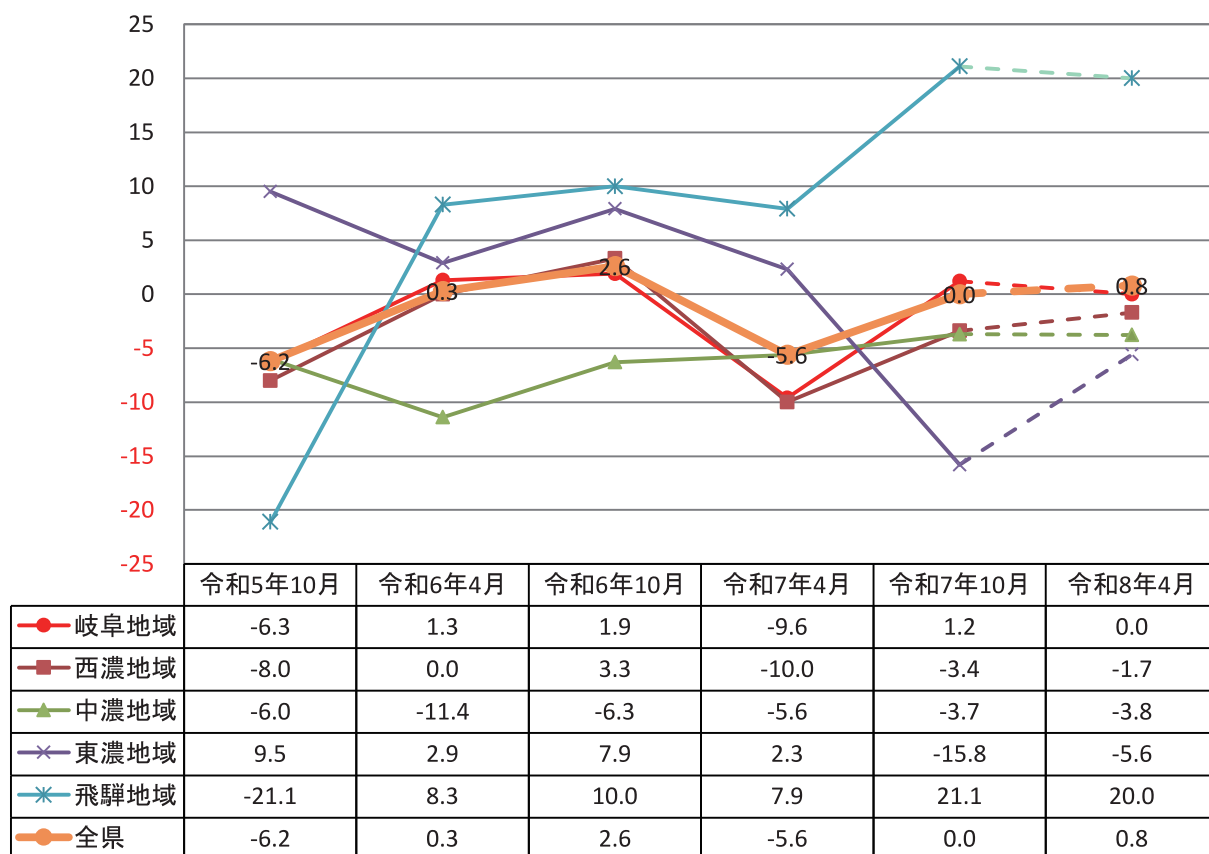
居住用物件の空室率DI



事業用物件の賃料DI



事業用物件の空室率DI



各地域ごとのコメント

岐阜地域	建築価額の高騰により、住宅用地の下落に拍車がかかると思われる。
	低価格の空家の売買ニーズがある。
	高齢化、人口減少に比例して売り物件が増えていく傾向にある。
西濃地域	住宅価格の高騰にて建売の販売が伸びている。
	昨年よりは土地売買は動いている。
	外国人が土地を購入している。市内の新築の建築現場が少ない。
中濃地域	土地は良い場所はやや高く、良くない場所は下がりつつある。
	物価高騰により、新築費用(建物)が高くなり、その分購入者の予算は増えない為、土地が売れず価格が下がっているのが現状である。
	物価の値上がりで土地の価格が上がり、住宅ローンで若い人たちの負担が大きくなっている。
東濃地域	多治見駅近辺の土地の上昇はこれからも続くと思われる。完全な供給不足(駅近)な状態が続いている。
	多くの地域で人口は減少傾向にあり、不動産流通は縮小傾向となると思われる。
	インバウンド等の特需がある場所では、売買・賃貸共に需要が増加傾向にある。
飛騨地域	人権費・建築費の高騰により、中古住宅(良質)の関心が高くなってきている。土地はインバウンドにより商業地域の価格は上昇はまだ続きそうである。
	県外からの移住者と民泊希望の問い合わせが増加傾向にある。また戸建新築希望者が減少しており、そのかわりリフォーム・増改築が増えている。
	飛騨地区(特に高山)ではマンションの需要が高くなっている。

全県実感DI推移表

時点	土地 価格 全体	土地 価格 住宅地	土地 価格 商業地	土地 取引	新築 戸建 取引	中古 戸建 取引	新築 マンション 取引	中古 マンション 取引	居住用 物件 賃料	居住用 物件 空室率	事業用 物件 賃料	事業用 物件 空室率
平成22年4月	-41.2			-27.0	-37.6	-15.3	-57.1	-36.5	-42.0	-33.9	-53.5	-34.8
平成22年10月	-42.7			-30.9	-28.5	-22.0	-60.5	-40.0	-42.7	-33.5	-61.6	-46.2
平成23年4月	-32.3			-21.0	-21.9	-20.5	-52.3	-40.5	-34.9	-17.1	-47.3	-30.4
平成23年10月	-34.9			-16.3	-10.2	-13.3	-38.9	-31.1	-34.5	-29.2	-49.0	-32.4
平成24年4月	-34.6			-13.5	-31.1	-22.9	-71.1	-48.1	-32.5	-17.0	-38.5	-30.6
平成24年10月	-35.8			-16.8	-23.5	-14.8	-53.8	-32.6	-38.5	-25.9	-51.4	-38.2
平成25年4月	-9.7			10.1	-3.3	-3.1	-17.0	-16.7	-17.6	-6.9	-18.1	-6.6
平成25年10月	-13.3			-1.9	2.7	-3.0	-10.2	-11.6	-20.9	-11.1	-27.2	-21.1
平成26年4月	-14.6			-14.2	-18.0	-15.3	-26.6	-20.9	-19.6	-13.5	-21.5	-13.5
平成26年10月	-20.5			-17.7	-23.2	-16.9	-34.4	-29.6	-20.1	-19.2	22.8	-14.7
平成27年4月	-19.4			-13.5	-19.0	-14.0	-22.1	-19.4	-22.1	-15.1	-22.2	-11.2
平成27年10月	-19.2			-14.4	-22.8	-13.2	-27.9	-21.2	-20.4	-14.2	-20.9	-11.7
平成28年4月	-16.4			-7.3	-11.5	-7.5	-15.8	-12.3	-16.5	-6.2	-19.2	-9.7
平成28年10月	-20.1			-12.2	-11.8	-10.3	-22.4	-17.4	-16.4	-9.3	-20.3	-9.9
平成29年4月	-13.1	-14.1	-12.1	-4.0	-12.8	-8.9	-25.0	-19.8	-21.7	-15.4	-16.8	-10.6
平成29年10月	-13.3	-15.2	-11.2	-5.0	-12.0	-11.8	-22.8	-12.0	-15.5	-14.2	-16.2	-12.6
平成30年4月	-7.5	-11.3	-3.6	-4.6	-8.5	-12.1	-21.7	-18.3	-9.6	-9.2	-15.0	-8.7
平成30年10月	-7.8	-10.6	-4.8	-2.8	-3.3	-5.6	-16.7	-15.0	-11.8	-6.5	-13.3	-7.9
平成31年4月	-8.4	-11.3	-5.3	-3.7	-7.0	-4.8	-23.3	-18.1	-12.7	-6.3	-12.8	-6.7
令和1年10月	-10.3	-14.3	-6.0	-7.4	-9.5	-9.3	-23.6	-21.2	-11.5	-5.9	-13.5	-6.6
令和2年4月	-19.6	-22.0	-17.1	-20.3	-22.3	-22.1	-33.8	-29.0	-15.1	-9.5	-25.3	-19.1
令和2年10月	-25.1	-24.1	-26.0	-14.1	-22.5	-12.8	-29.1	-23.4	-18.1	-17.8	-29.9	-21.9
令和3年4月	-15.5	-14.3	-16.8	-6.8	-3.2	-7.2	-18.0	-16.5	-11.4	-7.7	-21.6	-19.0
令和3年10月	-10.4	-8.5	-12.4	-5.0	0.5	1.9	-12.8	-11.0	-9.1	-9.2	-18.8	-10.8
令和4年4月	-4.4	-3.5	-5.5	-4.9	-7.2	-3.2	-10.9	-8.9	-7.0	2.2	-9.2	-3.3
令和4年10月	-3.5	-4.5	-2.4	-4.9	-10.6	-2.9	-21.1	-12.1	-8.8	-6.2	-13.7	-10.7
令和5年4月	0.7	-2.0	3.7	-10.8	-19.6	-3.1	-15.7	-11.3	-2.4	-1.1	-4.5	-1.5
令和5年10月	1.1	-1.7	4.2	-9.7	-23.1	-7.1	-14.6	-17.5	-2.7	-7.4	-6.8	-6.2
令和6年4月	1.7	-2.4	6.1	-10.9	-23.6	-3.9	-24.7	-11.0	0.0	-1.5	-1.8	0.3
令和6年10月	0.6	-2.5	3.9	-11.8	-29.9	-2.9	-21.1	-13.8	0.0	-5.4	1.4	2.6
令和7年4月	0.1	-3.9	4.3	-7.0	-20.5	0.5	-21.7	-11.7	1.9	-3.0	-4.3	-5.6
令和7年10月	1.5	-2.7	5.9	-9.4	-22.4	5.6	-17.5	-3.6	-2.6	-4.4	1.8	0.0